

(43) Date of publication of application: 09 . 10 . 98

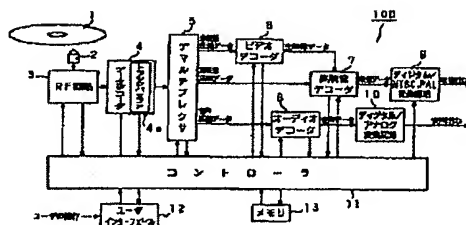
H04N 5/93  
G11B 20/10  
H04N 5/92

(72) Inventor: MIZUNO KIMIYOSHI  
SHIMIZU YOSHINORI  
HASEGAWA AKIRA  
ISHIDA TAKAYUKI

(57) Abstract:

**SOLUTION:** A controller 11 that controls an operation of a data processing means such as a data decoder 4 reproducing a PGC based on program chain information (PGCI) reproduced from a recording medium 1 obtains a reproduction address of a new angle image designated by an angle switching command by means of time code search and conducts a resume operation in the resume operation attended with seamless angle switching.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-271454

(43)公開日 平成10年(1998)10月9日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
H 0 4 N 5/93  
G 1 1 B 20/10  
H 0 4 N 5/92

識別記号  
3 2 1

F I  
H 0 4 N 5/93 Z  
G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z  
H 0 4 N 5/92 H

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 22 頁)

(21)出願番号 特願平9-85676

(22)出願日 平成9年(1997)3月20日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 水野 公嘉

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72)発明者 清水 義則

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72)発明者 長谷川 亮

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(74)代理人 弁理士 小池 晃 (外2名)

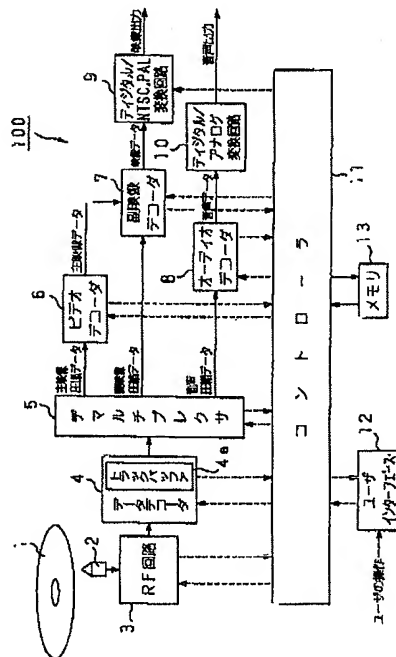
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 データ再生装置及びデータ再生方法

(57)【要約】

【課題】 記録媒体からP C Iに基づいてP G Cを再生するに当たり、シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、新たなアングルの画像を迅速に出力することができるようにしたデータ再生装置及びデータ再生方法を提供する。

【解決手段】 記録媒体1から再生したP G C Iに基づいてP G Cを再生するデータデコーダ4等のデータ処理手段の動作を制御するコントローラ11により、シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、アングル切り換えコマンドにより指定された新たなアングルの画像の再生アドレスをタイムコードサーチにより求めからレジューム動作を行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 アングルの異なる画像情報が複数のインターリーブドユニット (ILVU: Interleaved Unit) に分割されインターリーブされたビデオオブジェクトユニット (VOBU: Video Object Unit) を含む複数のVOBUからなるシェル構造の画像情報がプレゼンテーションのエッセンス及び順序を述べたPGC情報 (PGCI: PGC Information) に基づいて整数個のプログラム (PG: Program) により構成されるプログラムチェーン (PGC: Program Chain) として記録された記録媒体から、PCIに基づいてPGCを再生するデータ再生装置であって、シーマレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、アングル切り換えコマンドにより指定された新たなアングルの画像の再生アドレスをタイムコードサーチにより求めてからレジューム動作を行う制御を行う制御手段を備えることを特徴とするデータ再生装置。

【請求項2】 アングルの異なる画像情報が複数のインターリーブドユニット (ILVU: Interleaved Unit) に分割されインターリーブされたビデオオブジェクトユニット (VOBU: Video Object Unit) を含む複数のVOBUからなるシェル構造の画像情報がプレゼンテーションのエッセンス及び順序を述べたPGC情報 (PGCI: PGC Information) に基づいて整数個のプログラム (PG: Program) により構成されるプログラムチェーン (PGC: Program Chain) として記録された記録媒体から、PCIに基づいてPGCを再生するデータ再生方法であって、シーマレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、アングル切り換えコマンドにより指定された新たなアングルの画像の再生アドレスをタイムコードサーチにより求めてからレジューム動作を行うことを特徴とするデータ再生方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、プレゼンテーションのエッセンス及び順序を述べたPGC情報 (PGCI: PGC Information) に基づいて、整数個のプログラム (PG: Program) により構成されるプログラムチェーン (PGC: Program Chain) が記録されたDVD (Digital Versatile Disc/Digital Video Disc) などの記録媒体からPGCIを再生して、PGCIに基づいてPGCを再生して高速再生や逆方向再生などの特殊再生時を行うデータ再生装置及びデータ再生方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 デジタル画像およびデジタル音声信号を圧縮符号化する方式、また多重化する方式としてMPEG (Motion Picture coding Experts Group) 方式が提案されている。またMPEG方式を用いて、デジタル画像およびデジタル音声信号を圧縮符号化して多重化し、光記録媒体に記録し、それを再生する方式としてDVD-VIDEOフォーマットが提案されている。

【0003】 DVD-VIDEOディスクでは、収録するデータを主映像用のビデオデータストリーム、オーディオ用のオーディオデータストリーム、字幕等のサブピクチャストリームなど複数チャネルの多重化ストリームを、パケット多重方式により記録するようにしている。そして、カメラアングルの異なる画像情報を複数のインターリーブドユニット (ILVU: Interleaved Unit) に分割してインターリーブしたマルチアングルブロックとして記録しておくことにより、それを選択的に再生することで、同時刻上に複数存在するチャネルすなわちストリームの中から任意に1つを選んで再生し、また再生中に再生するチャネルすなわちストリームを切り替えるアングル機能を実現している。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 すなわち、DVD-VIDEOディスクは、図1に示すようにボリューム構造が規定されており、そのボリュームスペース内のDVD-VIDEOゾーンが1個のビデオマネージャ (VMG: Video Manager) と1個以上99個以下のビデオタイトルセット (VTS: Video Title Set) により構成される。VMGは、DVD-VIDEOゾーンの先頭に位置され、2個又は3個のファイルからなる。また、VTSは、3個以上12個以下のファイルからなる。

【0005】 図2にVMGとVTSの構造を示す。VMGは、先頭のファイルがコントロールデータ (VMGI: Video Manager Information) であり、次のファイルがメニューのためのVOBS (VMGM\_VOBS: VMGM Video Object Set) であり、最後のファイルがVMGIのバックアップとなっている。VMGIは、VMGメニュー (VMGM: VMG Menu) と1個以上のVTSを管理するための情報である。

【0006】 また、VTSは、先頭のファイルがコントロールデータ (VTSI: Video Title Set Information) であり、次のファイルがメニューのためのVOBS (VTSM\_VOBS: VTSM Video Object Set) であり、次の1個から9個のファイルがタイトルのためのVOBS (VTSTT\_VOBS: VTSTT Video Object Set) であり、最後のファイルがVTSIのバックアップとなっている。VTSIは、VTSにおけるVTSメニュー (VTSM: Video Title Set Menu) と1個以上のタイトル (TT: Title) を管理するための情報である。

【0007】 ここで、ビデオオブジェクトセット (VOBS: Video Object Set) は、図3に示すように、1個以上のビデオオブジェクト (VOB: Video Object) で構成される。VOB ID番号 (VOB\_IDN: VOB ID number) は、VOBS内の最も小さな論理セクタ番号 (LSN: Logical Sector number) のVOBからアサインされる。VOBは、1個以上のシェル (Cell) からなる。シェルID番号 (C\_IDN: Cell ID number) は、VOB内の最も小さな論理セクタ番号 (LSN: Logical Sector number)

のシェルからアサインされる。また、シェル (Cell) は、整数個のビデオオブジェクトユニット (VOBU: Video Object Unit) により構成される。VOBUは、整数個のオーディオパック (A\_PCK: Audio Pack), ビデオパック (V\_PCK: Video Pack), サブピクチャパック (SP\_PCK: Sub-picture Pack) 及びその先頭に配置されたナビゲーションパック (NV\_PCK: Navigation Pack) からなる。

【0008】VOBSにおけるVOBには、コンティギュアスブロック (CTGB: ContiguousBlock) とインターリーブブロック (ILVB: Interleaved Block) がある。CTGBは、図4に示すように互いに隣接して位置される1個単位のVOBである。また、ILVBは、図5に示すように、インターリーブされた複数個のVOBからなる。ILVBにおける各BOVは、それぞれ複数のインターリーブユニット (ILVU: Interleaved Unit) に分割されている。

【0009】さらに、上記NV\_PCKは、図6に示すように、パックヘッダ、システムヘッダ、PCIパケット (PCI\_PKT: Presentation Control Information packet) 及びDSIパケット (DSI\_PKT: Data Search Information packet) からなる。上記PCIパケットとして与えられるプレゼンテーション制御情報 (PCI: Presentation Control Information) は、VOBUのプレゼンテーションを制御するためのナビゲーションデータである。このPCIは、図7に示すように、PCI全体情報 (PCI\_GI: PCI General Information packet)、ノンシームレスアングル情報 (NSML\_AGLI: Angle Information for non-seamless)、ハイライト情報 (HLI: Highlight Information) 及びレコーディング情報 (RECI: Recording Information) の4種類からなる。PCI\_GIは、図8に示すように、ナビパックの論理ブロック番号 (NV\_PCK\_LBN: Logical Block number of Navigation Pack)、VOBUのカテゴリ (VOBU\_CAT: Category of VOB)、VOBUのユーザ操作制御 (VOBU\_UOP\_CTL: User Operation control of VOB)、VOBUのプレゼンテーション開始時間 (VOBU\_S\_PTM: Start Presentation Time of VOB)、VOBUのプレゼンテーション終了時間 (VOBU\_E\_PTM: End PTM of VOB)、VOBUにおけるシーケンスのプレゼンテーション終了時間 (VOBU\_SE\_PTM: End PTM of sequence in VOB) やシェル経過時間 (C\_ELT: Cell Elapse Time) などの情報である。また、NSML\_AGLIは、図9に示すようなアングル切り換えにおける切り換え先の情報であり、ノンシームレスでのアングルシェル切り換えにのみ有効とされる。

【0010】また、上記DSIパケットとして与えられるデータサーチ情報 (DSI: Data Search Information) は、VOBUのシームレス再生及びサーチを行うためのナビゲーションデータである。このDCIは、図10に

示すように、DSI全体情報 (DSI\_GI: DSI General Information)、シームレス再生情報 (SML\_PBI: Seamless Playback Information)、シームレスアングル情報 (SML\_AGLI: Angle Information for seamless)、VOBUサーチ情報 (VOBU\_SRI: VOB Unit Search Information) 及び同期情報 (SYNCI: Synchronous Information) の5種類からなる。DSI\_GIは、図11に示すように、NV\_PCK\_SCR (SCR: System Clock Reference of Navigation Pack)、NV\_PCK\_LBN (Logical Block number of Navigation Pack)、VOBU\_EA (End address of VOB)、VOBU\_1STREF\_EA (End address of the first Reference Picture in VOB)、VOBU\_2NDREF\_EA (End address of the second Reference Picture in VOB)、VOBU\_3RDREF\_EA (End address of the third Reference Picture in VOB)、VOBU\_VOB\_IDN (VOB ID number of VOB)、VOBU\_C\_IDN (Cell ID number of VOB) やC\_ELT (Cell Elapse Time) などの情報である。ここで、上記VOBU\_1STREF\_EA、VOBU\_2NDREF\_EA及びVOBU\_3RDREF\_EAは、図12に示すように、DSIパケットのVOBUの第1論理ブロック (LB: Logical Block) LBからの相対論理ブロック番号 (RLBN: Relative LogicalBlock number) をもってDSIパケットの後に続いて記録されたビデオパック (V\_PCK: Video pack) であって、最初にエンコードされる参照画像 (第1のIピクチャ) の最終データのビデオパックのアドレスをVOBU\_1STREF\_EAが示し、次にエンコードされる参照画像 (Pピクチャ) の最終データのビデオパックのアドレスをVOBU\_2NDREF\_EAが示し、その次にエンコードされる参照画像 (Pピクチャ) の最終データのビデオパックのアドレスをVOBU\_3RDREF\_EAが示す。

【0011】また、上記SML\_PBIは、図13に示すように、シームレスVOBUのカテゴリ (VOBU\_SML\_CAT: Category of seamless VOB)、インターリーブユニット (ILVU: Interleaved Unit) の終了アドレス (ILVU\_EA: End Address of Interleaved Unit)、次のILVUの開始アドレス (NXT\_ILVU\_SA: Start address of the next Interleaved Unit)、次のILVUのサイズ (NXT\_ILVU\_SZ: Size of the next Interleaved Unit)、VOBにおけるビデオのプレゼンテーション開始時間 (VOB\_V\_S\_PTM: Video Start PTM in VOB)、VOBにおけるビデオのプレゼンテーション終了時間 (VOB\_V\_E\_PTM: Video End PTM in VOB)、VOBにおけるオーディオのプレゼンテーション停止時間 (VOB\_A\_STP\_PTM: Audio Stop PTM in VOB) やVOBにおけるオーディオのギャップ長 (VOB\_A\_GAP\_LEN: Audio Gap Length in VOB) などからなる。

【0012】さらに、上記SML\_AGLIは、図14

に示すようなスアングル切り換えにおける切り換え先の情報であり、シームレスでのアングルセル切り換えにのみ有効とされる。

【0013】そして、DVD-VIDEOディスクでは、図15に示すようなプログラムチェーン(PGC: Program Chain)構造が採用されており、プレゼンテーションのエッセンス及び順序を述べたPGC情報(PGCI: PGC Information)に基づいて、整数個のプログラム(PG: Program)により構成されるプログラムチェーン(PGC: Program Chain)としてデータが記録されている。PGCは、メニュー又はタイトル又はその一部を提供する論理ユニットであり、PGCIに基づいて構成される。1つのPGCは、整数個のPGに分割されている。PGは、PGCの内容を分割した単位であり、1つのPGは、整数個のセル(Cell)からなる。DVD-VIDEOディスクの再生装置では、PGCIを再生して、PGCIに基づいてPGCを再生する。PGは、PGCIにおいて定義されるセル(Cell)の集まりである。PGCIは、プレ・コマンドエリア及びポスト・コマンドエリアとプレゼンテーション・コントロールブロックからなり、プレゼンテーション・コントロールブロックによりセルの再生順序とVOBのプレゼンテーションを制御するためのナビゲーションデータを与えるようになっている。

【0014】上記PGCIは、図16に示すように、PGC全体情報(PGC\_GI: Program Chain General Information)、PGCコマンドテーブル(PGC\_CMDT: Program Chain Command Table)、PGCプログラムマップ(PGC\_PGMAP: Program Chain Program Map)、セル再生情報テーブル(C\_PBIT: Cell Playback Information Table)、セル位置情報テーブル(C\_POSIT: Cell Position Information Table)を構成する。

【0015】PGC\_GIの内容は、図17に示すように、PGCコンテンツ(PGC\_CNT: PGC Contents)、PGC再生時間(PGC\_PB\_TM: PGC Playback Time)、PGCユーザ操作制御(PGC\_UOP\_CTL: PGC Use Operation Control)、PGCオーディオストリーム制御テーブル(PGC\_AST\_CTLT: PGC Audio stream Control Table)、PGCサブピクチャストリーム制御テーブル(PGC\_SPST\_CTLT: PGC Sub-picture stream Control Table)、PGCナビゲーション制御(PGC\_NV\_CTL: PGC Navigation Control)、PGCサブピクチャパレット(PGC\_SP\_PLT: PGC Sub-picture Palette)、PGC\_CMDTのスタートアドレス(PGC\_CMDT\_SA: Start address of PGC\_CMDT\_SA)、PGC\_PGMAPのスタートアドレス(PGC\_PGMAP\_SA: Start address of PGC\_PGMAP)、PGC\_PBITのスタートアドレス(C\_PBIT\_SA: Start address of C\_PBIT)やPGC\_POSITのスタートアドレス(C\_POSIT\_SA: Start address of C\_POSIT)となっている。

【0016】また、上記C\_PBITは、PGCにおけるセル(Cell)のプレゼンテーションの順序を定義するテーブルであって、図18に示すように、セル再生情報(C\_PBI: Cell Playback Information)が連続的に記述されている。そして、このC\_PBIは、図19に示すように、セルカテゴリー(C\_CAT: Cell Category)、セル再生時間(C\_PBTM: Cell Playback Time)、セル(Cell)の先頭VOBUの開始アドレス(C\_FVOBU\_SA: Start address of the First VOB in Cell)、セル(Cell)の先頭VOBUの終了アドレス(C\_FVOBU\_EA: End address of the First VOB in Cell)、セル(Cell)の最終VOBUの開始アドレス(C\_LVOBU\_SA: Start address of the Last VOB in Cell)、セル(Cell)の最終VOBUの終了アドレス(C\_LVOBU\_EA: End address of the Last VOB in Cell)からなる。

【0017】このように、DVD-VIDEOディスクでは、DVD-VIDEOゾーンに、ナビゲーションデータすなわち再生制御データと、プレゼンテーションデータすなわちビデオ、オーディオ、サブピクチャなどを再生するためのデータの2種類のデータが記録されている。

【0018】また、このようなDVD-VIDEOディスクの再生装置では、電源の投入やディスクのローディングの後など初期アクセス時に実行される特別なエンタリーPGCにより生じるファーストプレイドメイン(FP\_DOM: First Play Domain)と、タイトルメニューにおける各言語のために用いられるVMGMメニュードメイン(VMGM\_DOM: VMG Menu Domain)と、ルートメニュー、PTTメニュー、オーディオメニュー、サブピクチャメニューやアングルメニューにおいて現れる各VTSや各言語のために用いられるVTSメニュードメイン(VTSM\_DOM: VTS Menu Domain)と、各VTSや各タイトルのために用いられるタイトルドメイン(TT\_DOM: Title Domain)の4種類のドメインが定義され、ナビゲーションコマンドやユーザの操作入力に応じて各ドメイン間を遷移することができるようになっている。ユーザの操作入力による状態遷移では、図20に示すように、FP\_DOMとの間の遷移はなく、コマンドに応じて停止状態(Stop State)とVMGM\_DOMとVTSM\_DOMとTT\_DOMとの間で次のように遷移する。VMGM\_DOM又はVTSM\_DOMへの遷移はメニューIDによって指定されるメニューのエンタリーPGCの実行開始を指示するMenu\_Call()コマンドにより生じる。停止状態(Stop State)への遷移はPGCの再生停止を指示するStop()コマンドにより生じるとともに、VMGM\_DOM及びVTSM\_DOMではレジュームポジションへの復帰を指示するResume()コマンドによっても生じる。また、TT\_DOMへの遷移は、タイトル番号により指定されるタイトルの

再生開始を指示するTitle\_Play()コマンド、PTT(Part\_of\_Title)番号により指定されるタイトルの再生開始を指示するPTT\_Play()コマンド、時間により指定されるタイトルの再生開始を指示するTime\_Play()コマンドにより生じる。

【0019】ここで、DVD-VIDEOディスクの再生装置では、可変レート再生を実現するために、トラックバッファと呼ばれるメモリが搭載されており、マルチアングル機能等のためにディスクに記録された再生データのうち、ピックアップがトラックジャンプしながらユーザが選択した映像や音声の再生に必要なデータだけを読み出す時間を上記メモリで吸収することによって、同時進行している例えばアングルの異なる映像を切れ目なしでつなぎ合わせて再生するシームレス再生を行うことができるようになってきている。

【0020】しかし、従来のDVD-VIDEOディスクの再生装置におけるシームレスアングル切り換えの機能は、順方向の通常再生にのみ実行され、同時進行しているアングルの異なる映像を切れ目なしでつなぎ合わせて再生する機能であって、変速再生や逆方向再生等の特殊再生モードに対応することはできないでいた。また、TT\_DOMからVTSM\_DOMに遷移して、VTSM\_DOMにおいてアングル切り換えイベントを発生させてレジューム動作によりTT\_DOMに戻るような場合に、シームレスアングル切り換えでは、アングル切り換えを行った新たなアングルの出力するのに時間がかかり、TT\_DOMに戻っても新たなアングルの画像が表示されていない状態になってしまう。

【0021】そこで、本発明の目的は、シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、新たなアングルの画像を迅速に出力することができるようにしたデータ再生装置及びデータ再生方法を提供することにある。

【0022】

【課題を解決するための手段】本発明は、アングルの異なる画像情報が複数のインターリーブドユニット(ILVU: Interleaved Unit)に分割されインターリーブされたビデオオブジェクトユニット(VOBU: Video Object Unit)を含む複数のVOBUからなるシェル構造の画像情報がプレゼンテーションのエッセンス及び順序を述べたPGC情報(PGCI: PGC Information)に基づいて整数個のプログラム(PG: Program)により構成されるプログラムチェーン(PGC: Program Chain)として記録された記録媒体から、PGCIに基づいてPGCを再生するに当たり、シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、アングル切り換えコマンドにより指定された新たなアングルの画像の再生アドレスをタイムコードサーチにより求めてからレジューム動作を行う制御を行うことを特徴とする。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

【0024】本発明は、例えば、図21に示すような構成の光ディスク再生装置100に適用される。この光ディスク再生装置100は、DVD-VIDEOディスクの再生装置に本発明を適用したものであって、DVDのフォーマットに従ったデータが記録された記録媒体1からRF信号を再生するピックアップ2と、このピックアップ2により再生されたRF信号が供給されこのRF信号の2値化処理等をするRF回路3と、RF回路3からの再生データが供給されエラー訂正等のデコード処理をするデータデコード4と、データデコード4によりデコード処理がされた再生データを主映像圧縮データ、副映像圧縮データ及び音声圧縮データに振り分けるデマルチプレクサ5とを備える。

【0025】また、この光ディスク再生装置100は、上記主映像圧縮データを伸張するビデオデコード6と、上記副映像圧縮データを伸張して主映像データと合成する副映像デコード7と、上記音声圧縮データを伸張するオーディオデコード8と、副映像デコード7からの主映像データと副映像データが合成された映像データが供給されNTSC信号又はPAL信号に変換するデジタル/NTSC、PAL変換回路(以下、単にNTSC変換回路という。)9と、オーディオデコード8からのオーディオデータが供給されアナログ信号に変換するデジタル/アナログ変換回路(以下、単にA/D変換回路という。)10とを備える。

【0026】また、このDVD再生装置100は、ピックアップ2、RF回路3、データデコード4、デマルチプレクサ5、ビデオデコード6、副映像デコード7、オーディオデコード8、NTSC変換回路9及びA/D変換回路10を制御するコントローラ11と、このコントローラ11とユーザーの操作入力を媒介するユーザーインターフェース12と、コントローラ11のデータ記憶部となるメモリ13とを備える。

【0027】この光ディスク再生装置100は、記録媒体1として再生専用、追記型、書換型等のDVDディスク及びDVD-VIDEOディスクを再生する。

【0028】ピックアップ2は、記録媒体1からRF信号を再生してRF回路3に供給する。

【0029】RF回路3は、このRF信号の波形等化及び2値化等をしてデジタルデータとその同期信号等を作成する。このRF回路3により生成されたデジタルデータ等は、データデコード4に供給される。

【0030】データデコード4は、RF回路3により生成されたデジタルデータに基づきデータの復調や誤り訂正等の処理を行う。データデコード4により復調等がされたデジタルデータは、デマルチプレクサ5に供給される。

【0031】また、このデータデコード4では、MPE

G2のフォーマットにおけるシステムヘッダや、バックヘッダ等に含まれるパラメータ情報やDVDフォーマットにおけるナビゲーションパック(NV\_PCK: Navigation Pack)に含まれる所定の情報等を検出する。この検出したパラメータ情報等は、データデコーダ4からコントローラ11に供給される。

【0032】また、このデータデコーダ4は、デジタルデータの出力段にトラックバッファを設けている。このトラックバッファによりデータデコーダ4とデマルチプレクサ5の処理速度の違いが吸収される。

【0033】デマルチプレクサ5は、データデコーダ4によりエラー訂正のデコード処理等が施された記録媒体1から再生したデジタルデータを、主映像圧縮データと、副映像圧縮データと、音声圧縮データとに分割する。

【0034】ここで、主映像圧縮データとは、MPEG2の方式で圧縮された映像データであり、例えばDVDのフォーマットにおけるVideo streamsである。副映像圧縮データとは、主映像に合成される字幕等のデータであり、例えば、DVDのフォーマットにおけるSub-picture streamsである。音声圧縮データとは、MPEG2等の方式で圧縮等された音声データであり、DVDのフォーマットにおけるAudio streamsである。

【0035】デマルチプレクサ5は、主映像圧縮データをビデオデコーダ6に供給し、副映像圧縮データを副映像デコーダ7に供給し、音声圧縮データをオーディオデコーダ8に供給する。

【0036】ビデオデコーダ6は、主映像圧縮データの復号処理を行い、この復号処理により伸張化された主映像データを生成する。このビデオデコーダ6は、復号処理を行うために3画面分の画像メモリを有している。すなわち、この3画面分の画像メモリを用いて、MPEG2のフォーマットにおけるIピクチャ、Pピクチャ、Bピクチャをメモリ上に復号して、さらに、この復号された各ピクチャをメモリ上から出力する。なお、この画像メモリは、3画面分に限らず、これ以上の画面数あってもよい。ビデオデコーダ6は、生成した主映像データを副映像デコーダ7に供給する。

【0037】副映像デコーダ7は、副映像圧縮データの復号処理を行い、この復号処理をした副映像データをビデオデコーダ6から供給された主映像データに合成して、映像データを生成する。すなわち、副映像デコーダ7は、副映像データとして再生される字幕データ等を主映像と合成する。なお、この副映像デコーダ7は、副映像データが無い場合には、主映像データをそのまま映像データとして出力する。副映像デコーダ7は、生成した映像データをNTSC変換回路9に供給する。

【0038】オーディオデコーダ8は、音声圧縮データの復号処理を行い、伸張した音声データを生成する。す

なわち、オーディオデコーダ8は、音声圧縮データがMPEG2のフォーマットで圧縮されていれば、これに対応した伸張処理をして、音声データを生成する。なお、このMPEG2のフォーマットの他に、PCM等のフォーマットであれば、これに対応した処理を行う。オーディオデコーダ8は、生成した音声データをA/D変換回路10に供給する。

【0039】NTSC変換回路9は、映像データをデジタルデータからNTSCやPAL等のテレビジョン信号に変換して出力する。この出力をモニタ等に供給することにより、ユーザーが記録媒体1から再生した映像を視聴することができる。

【0040】A/D変換回路10は、デジタルデータである音声データをアナログの音声データに変換して出力する。この出力をスピーカ等に供給することにより、ユーザーが記録媒体1から再生した映像を視聴することができる。

【0041】コントローラ11は、ピックアップ2、RF回路3、データデコーダ4、デマルチプレクサ5、ビデオデコーダ6、副映像デコーダ7、オーディオデコーダ8、NTSC変換回路9及びA/D変換回路10の制御を行う。

【0042】また、このコントローラ11には、操作パネルやリモートコントローラであるユーザーインターフェース12を介して操作入力され、この操作入力に基づき各回路の制御を行う。

【0043】また、コントローラ11は、メモリ13に各制御データ等を記憶させ、メモリ13が記憶したデータに基づき各回路の制御を行う。

【0044】そして、この光ディスク再生装置100において、コントローラ11は、記録媒体1から再生されるプレゼンテーションのエッセンス及び順序を述べたPGC情報(PGCI: PGC Information)に基づいて、整数個のプログラム(PG: Program)により構成されるプログラムチェーン(PGC: Program Chain)を再生するようにデコーダ4を制御するに当たり、再生したPGCIをメモリ13のキャッシュ領域に保持しておき、再生すべきPGCのPGCIが上記キャッシュ領域に保持されているときに、上記キャッシュ領域に保持されているPGCIによりPGCを再生するように上記デコーダ4を制御する。

【0045】上記コントローラ11は、特殊再生モードにおいて、ユーザの操作によるアングル切り換えコマンドを受け付けて、次のような制御動作を行う。

【0046】すなわち、上記コントローラ11は、例えば図22のフローチャートに示すように、ポーズ中にアングル切り換えコマンドが発生すると(ステップS1)、まず、現在の表示画のビデオオブジェクトユニット(VOBU: Video Object Unit)のセル経過時間(Cell Elapse Time)をメモリ13に記憶し(ステ

ップS2)、現在のアングル番号を示す変数ANを目的のアングル番号(AGLN: Angle number)とする(ステップS3)。次に、このANに従って現在のシェル番号(CN: Cell Number)を決定して(ステップS4)、シェル再生情報テーブル(C\_PBIT: Cell Playback Information Table)より上記CNの先頭のVOBUの開始アドレス(VOBU\_SA: VOB start address)を取得する(ステップS5)。そして、このVOBU\_SAと記憶したC\_ELT Mを基に、シェル内のタイムコード(TC: Time Code)サーチを行ってから(ステップS6)、目的のアングル番号の静止画を出力する(ステップS7)。

【0047】上記ステップS6のシェル内のTCサーチは、図23のフローチャートに従って行う。すなわち、シェル内のTCサーチでは、先ず、VOBU\_SAのナビゲーションパック(NV\_PCK: Navigation Pack)を取得する(ステップS11)。次に、目的のC\_ELT Mと現在のC\_ELT Mとの差分を求め(ステップS12)、差分に最も近いVOBU\_SAをNV\_PCKのVOBUサーチ情報(VOBU\_SRI: VOB Unit Search Information)より取得する(ステップS13)。さらに、取得したVOBU\_SAが現在のVOBU\_SAか否かを判定し(ステップS14)、その判定結果が「NO」であれば、取得したVOBU\_SAを現在のVOBU\_SAにして(ステップS15)、上記ステップS11に戻って、各ステップS11~S14の処理を繰り返し行う。そして、上記ステップS14における判定結果が「YES」であれば、このシェル内のTCサーチ処理を終了して、上述のステップS7に移って目的のアングル番号の静止画を出力する。

【0048】このような制御を上記コントローラ11で行うことにより、ポーズ中にアングル切り換えを行うことができる。

【0049】また、上記コントローラ11は、例えば図24のフローチャートに示すように、A点記憶のイベントが発生すると(ステップS21)、A点のシェル番号(CN: Cell Number)、アングル番号(AGLN: Angle number)及びC\_ELT Mを記憶する(ステップS22)。そして、B点が決定されると(ステップS23)、図25の(A)に示すようにA点(A1・C\_ELT M)とB点(B1・C\_ELT M)との間を繰り返し再生するA-Bリピートの動作状態になる(ステップS24)。

【0050】そして、上記コントローラ11は、図26のフローチャートに示すように、例えば図25の(A)に示すアングル番号1の画像を出力するA-Bリピートの動作中に、アングル切り換えコマンドが発生すると、このアングル切り換えコマンドにより受け付けた例えばアングル番号2の画像を出力するようにCNとANを変更する(ステップS31)。

【0051】そして、図25の(B)に示すように、B

点(B1・C\_ELT M)まで達すると(ステップS32)と、ステップS22で記憶したCNとANにより与えられるA点(A1・C\_ELT M)とはアングル番号2の画像についてのA点(A2・C\_ELT M)サーチして(ステップS33)、図25の(B)に示すようにアングル番号2の画像のA点(A2・C\_ELT M)に戻って、A点(A2・C\_ELT M)とB点(B2・C\_ELT M)との間を繰り返し再生するA-Bリピートの動作状態になる(ステップS34)。

【0052】上記ステップS33におけるA点(A2・C\_ELT M)サーチは、図27のフローチャートに従って行う。すなわち、A点(A2・C\_ELT M)サーチでは、先ず、上述のステップS22で記憶したCNから現在のAN(アングル番号2)を持つA点があるであろうCNを決定する(ステップS41)。そして、シェル再生情報テーブル(C\_PBIT: Cell Playback Information Table)より上記CNの先頭のVOBUの開始アドレス(VOBU\_SA: VOB start address)を取得して(ステップS42)、このVOBU\_SAと記憶したA点のC\_ELT Mを基に、シェル内のタイムコード(TC: Time Code)サーチを行う(ステップS43)。このステップS43におけるシェル内のTCサーチは、上述の図23のフローチャートに従って行う。

【0053】さらに、上記コントローラ11は、上記図25(B)に示すA点(A2・C\_ELT M)とB点(B2・C\_ELT M)との間を繰り返し再生するA-Bリピート中に、さらに、アングル切り換えコマンドを受け付けることにより、例えばアングル番号3の画像を出力するようにCNとANを変更して、上記図25(C)に示すA点(A3・C\_ELT M)とB点(B3・C\_ELT M)との間を繰り返し再生するA-Bリピートの動作状態となる。

【0054】このような制御を上記コントローラ11で行うことにより、A-Bリピート中にもアングル切り換えを行うことができる。

【0055】ここで、通常再生時には、ユーザの操作によるアングル切り換えコマンドは発生すると、インターリーブユニット(ILVU: Interleaved Unit)を1つバッファに入れて、その後にアングル切り換えの処理を行うのであるが、ILVU中のある長さ分だけをバッファに入れる処理を繰り返す順方向高速再生(FF)動作時には、ユーザの操作によるアングル切り換えコマンドに応じて直ちにアングル情報によってジャンプ先を変更すると、2~3秒位画像が飛んでしまうことになる。

【0056】そこで、この光ディスク再生装置100におけるコントローラ11は、図28のフローチャートに示す手順にしたがった制御動作によって、FF動作中にもユーザの操作によるアングル切り換えコマンドを受け付けて、アングル切り換えを行う。

【0057】すなわち、図28のフローチャートに示す



ように、NEXT\_SAにジャンプして(ステップS51)、次の飛び先のVOBU\_SAを取得してNEXT\_SAに代入する処理(ステップS52)を繰り返すFF動作において、上記ステップS52の後に、アングル切り換えのイベントが発生したか否かを判定し(ステップS52)、アングル切り換えのイベントが発生していない場合にはアングル切り換えを行うことなく上記ステップS51に戻ってFF動作を継続し、アングル切り換えのイベントが発生した場合にステップS54に移る。

【0058】このステップS54では、NV\_PCK中のシームレス再生情報(SML\_PBI: Seamless Playback Information)のILVU\_EAすなわちインターリーブユニット(ILVU: Interleaved Unit)の終了アドレスが次のFFのためのVOBU\_SAすなわちNEXT\_SAにより手前にあるか否かを判定する。

【0059】そして、ILVU\_EA<NEXT\_SAでない場合にはアングル切り換えを直ちには行わず上記ステップS51に戻ってFF動作を継続し、ILVU\_EA<NEXT\_SAになった時点で、ステップS55に移ってアングル切換えを実行する。

【0060】このステップS55では、アングル切り換えコマンドに応じて受け付けたアングル番号(AGLN: Angle number)に従って、NEXT\_EAをシームレスアングル情報(SML\_AGLI: Angle Information for seamless)により変更する。そして、上記ステップS51に戻ってFF動作を継続する。

【0061】これにより、FF動作中にも例えば図29に示すようなアングル番号1の画像からアングル番号2の画像へシームレスアングル切り換えを行うことができる。

【0062】また、上記コントローラ11は、図30のフローチャートに示す手順にしたがった制御動作によって、逆方向再生(FR)動作中にもユーザの操作によるアングル切り換えコマンドを受け付けて、アングル切り換えを行う。

【0063】すなわち、FR動作中には、次のFRの飛び先のスタートアドレスをSAとし(ステップS61)、現在のNV\_PCKのILVU\_EA又はNEXT\_ILVU\_SAをメモリに記憶する(ステップS62)。そして、SAへジャンプして(ステップS63)、SAの指すVOBUのNV\_PCKのILVU\_EA又はNEXT\_ILVU\_SAを取得する(ステップS64)。

【0064】次に、ステップS62で記憶したNV\_PCKのILVU\_EA又はNEXT\_ILVU\_SAとステップS63で取得したNV\_PCKのILVU\_EA又はNEXT\_ILVU\_SAとが同じであるか否かを判定する(ステップS65)。

【0065】上記ステップS65における判定結果が

「YES」である場合には、上記ステップS61に戻ってFR動作を継続する。また、上記ステップS65における判定結果が「NO」である場合には、シームレスアングル情報(SML\_AGLI: Angle Information for seamless)より目的のアングルの飛び先へジャンプする(ステップS66)。

【0066】そして、ジャンプ先のNV\_PCKを取得し、PREV\_VOBUへジャンプして(ステップS67)、上記ステップS61に戻ってFR動作を継続する(ステップS67)。

【0067】このような制御を行うことにより、FR動作中にも例えば図31に示すようなアングル番号2の画像からアングル番号1の画像へシームレスアングル切り換えを行うことができる。

【0068】ここで、上記ステップS67を行わずに、ステップS66の後に上記ステップS61に戻ってFR動作を継続することにより処理を簡略化することもできるが、上記ステップS67を行うことによってFR動作の精度を向上させることができる。さらに、上記ステップS65～ステップS67の処理期間中の画像を出力しないようにすることにより、さらに精度を向上させることができる。

【0069】このように、この光ディスク再生装置100では、コントローラ11による制御によって、変速再生や逆方向再生等の特殊再生モードにおいてシームレスアングル切り換えをシームレスアングル切り換えを精度良く行うことができる。

【0070】また、この光ディスク再生装置100におけるコントローラ11は、例えば図32に示すように、アングル番号1の再生画面において、VTSM\_DOMのメニュー画面を読み出してアングル切り換え画面でアングル切り換えを行ってレジュームする場合に、先ず、アングル切り換えコマンドにより指定された新たなアングルの画像の再生アドレスを上述の図23のフローチャートに従ってタイムコードサーチにより求める。

【0071】そして、レジューム動作の実行に当たっては、図33のフローチャートに示すように、上記タイムコードサーチにより求められたVOBUのNV\_PCKを取って(ステップS71)、SP\_SYNCA(SP\_Synchronous address)の有無を判定し(ステップS72)、SP\_SYNCAがある場合にはそのSP\_SYNCAまで戻って(ステップS72)、再生を行う(ステップS73)。また、SP\_SYNCAがない場合には、ビデオ情報の有無を判定し(ステップS75)、ビデオ情報がある場合にはそのまま再生を行う(ステップS76)。また、ビデオ情報が無い場合には、最後に存在していたビデオ情報を持つVOBUまで戻って(ステップS77)、再生を行う(ステップS78)。

【0072】このように、シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、アングル切り換えコマンド

により指定された新たなアングルの画像の再生アドレスをタイムコードサーチにより求めてからレジューム動作を行う制御を行うことにより、もとのドメインに戻った時点で新たなアングルの画像を出力することができる。

#### 【0073】

【発明の効果】本発明によれば、シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作時に、新たなアングルの画像を迅速に出力することができるようにしたデータ再生装置及びデータ再生方法を提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】DVD-VIDEOディスクにおけるボリューム構造を示す図である。

【図2】上記ボリューム構造におけるVMGとVTSの構造を示す図である。

【図3】VOBSの構成を示す図である。

【図4】コンティギューアブロックCTGBを示す図である。

【図5】インターリーブドユニットILVUを示す図である。

【図6】ナビゲーションパックNV\_PCKの構成を示す図である。

【図7】プレゼンテーション制御情報PCIの構成を示す図である。

【図8】PCI全体情報PCI\_GIの構成を示す図である。

【図9】NSML\_AGLIによるアングル切り換えの状態を示す図である。

【図10】データサーチ情報DSIの構成を示す図である。

【図11】DSI全体情報DSI\_GIの構成を示す図である。

【図12】DSIのVOBU\_1STREF\_EA、VOBU\_2NDREF\_EA及びVOBU\_3RDREF\_EAにより指示される内容を示す図である。

【図13】SML\_PBIの構成を示す図である。

【図14】SML\_AGLIによるシームレスアングルシェル切り換えの状態を示す図である。

【図15】DVD-VIDEOディスクで採用されているプログラムチェーンPGC構造を示す図である。

【図16】PGCIの構成を示す図である。

【図17】PGC\_IIの構成を示す図である。

【図18】C\_PBITの構成を示す図である。

【図19】C\_PBIの構成を示す図である。

【図20】DVD-VIDEOディスクの再生装置におけるユーザの操作入力によるドメイン間の状態遷移を示す図である。

【図21】本発明を適用した光ディスク再生装置の構成を示すブロック図である。

【図22】上記光ディスク再生装置におけるポーズ動作中のコントローラによるシームレスアングル切り換えの制御手順を示すフローチャートである。

【図23】シェル内のタイムコードサーチの手順を示すフローチャートである。

【図24】上記光ディスク再生装置におけるA-Bリピートの制御手順を示すフローチャートである。

【図25】A-Bリピート中のシームレスアングル切り換えを状態を示す図である。

【図26】A-Bリピート中のコントローラによるシームレスアングル切り換えの制御手順を示すフローチャートである。

【図27】上記A-Bリピート中のシームレスアングル切り換えにおけるA点サーチ手順を示すフローチャートである。

【図28】FF動作中のコントローラによるシームレスアングル切り換えの制御手順を示すフローチャートである。

【図29】上記FF動作中のシームレスアングル切り換えを状態を示す図である。

【図30】FR動作中のコントローラによるシームレスアングル切り換えの制御手順を示すフローチャートである。

【図31】上記FR動作中のシームレスアングル切り換えを状態を示す図である。

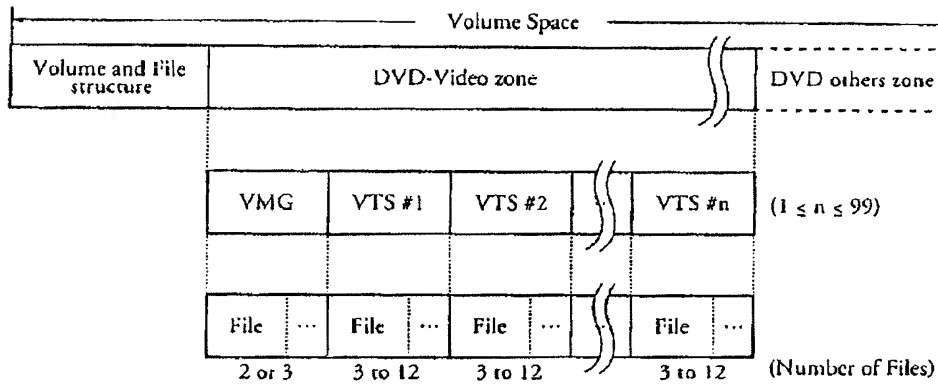
【図32】シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作を示す図である。

【図33】シームレスアングル切り換えを伴うレジューム動作を行う場合の制御手順を示すフローチャートである。

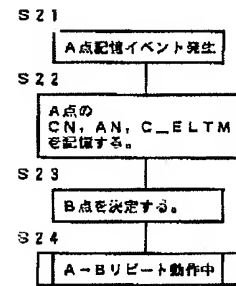
#### 【符号の説明】

1 記録媒体、2 ピックアップ、3 RF回路3、4 データデコーダ、5 デマルチプレクサ、6 ビデオデコーダ、7 副映像デコーダ、8 オーディオデコーダ、9 NTSC変換回路、10 A/D変換回路、11 コントローラ、12 ユーザーインターフェース、13 メモリ、100 光ディスク再生装置

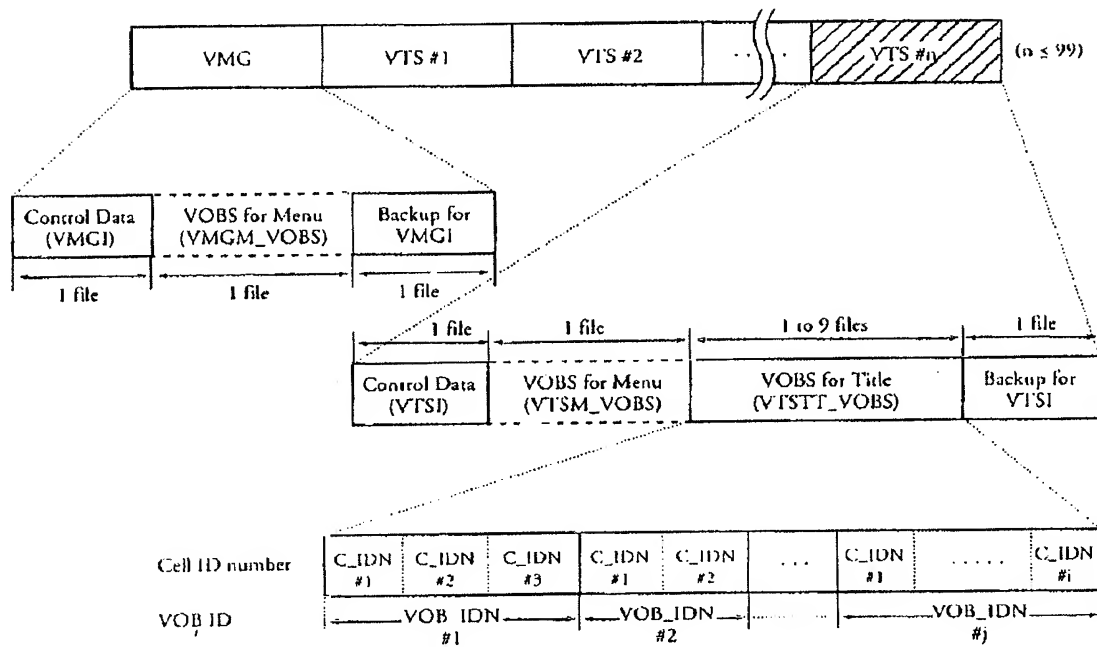
【図1】



【図24】



【図2】



C\_IDN # : Cell ID number within a VOB

VOB\_IDN # : VOB ID number within a VOBS

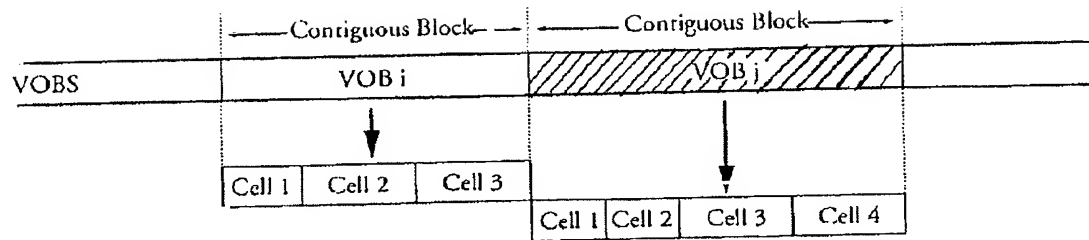
【図3】

Video Object Set (VOBS)											
Video Object (VOB_IDN1)				Video Object (VOB_IDN2)				...			
Cell (C_IDN1)				Cell (C_IDN2)				...			
Video Object Unit (VOBU)			Video Object Unit (VOBU)			Video Object Unit (VOBU)			...		
NV_PCK	A_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	SP_PCK	A_PCK	V_PCK	...	A_PCK	SP_PCK	V_PCK
V_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	V_PCK	NV_PCK	V_PCK	A_PCK

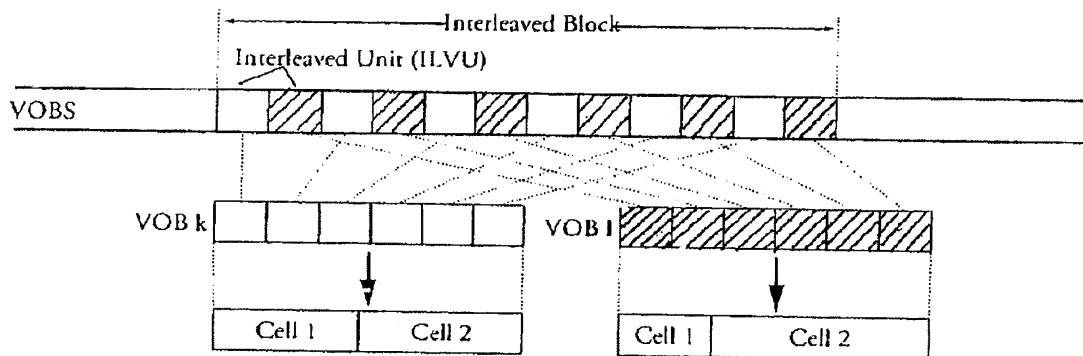
【図16】

Program Chain General Information (PGC_GI) (Mandatory)
Program Chain Command Table (PGC_CMDT) (Optional)
Program Chain Program Map (PGC_PGMAP) (Mandatory if C_PBIT exists)
Cell Playback Information Table (C_PBIT) (Optional)
Cell Position Information Table (C_POSIT) (Mandatory if C_PBIT exists)

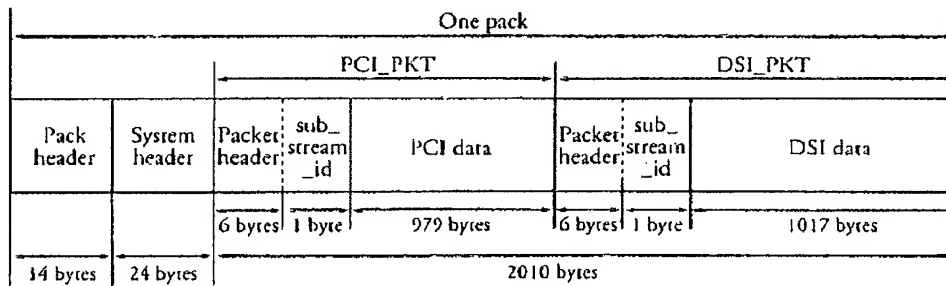
【図4】



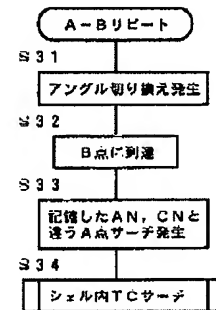
【図5】



【図6】



【図26】



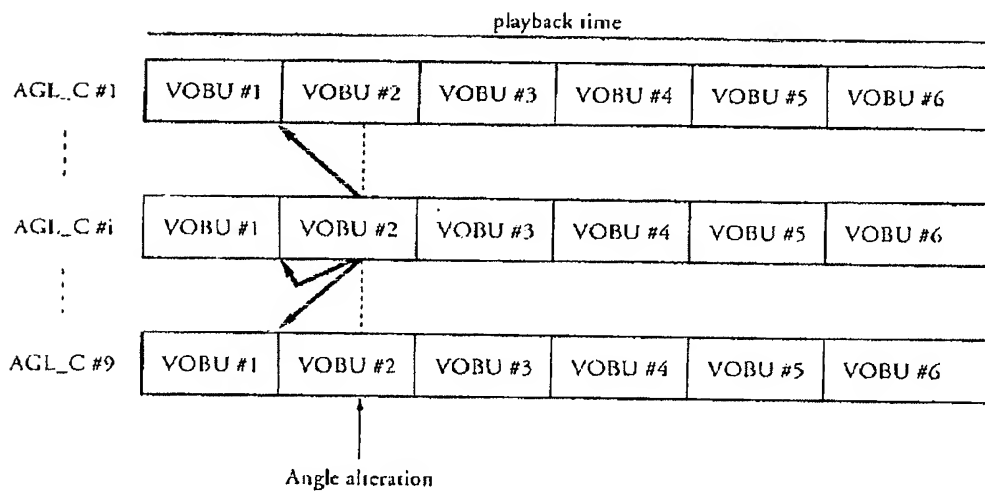
【図7】

	Content	Number of bytes
PCI_GI	PCI General Information	60 bytes
NSML_AGLI	Angle Information for non-seamless	36 bytes
HLI	Highlight Information	694 bytes
RECI	Recording Information	189 bytes
	Total	979 bytes

【図8】

	Content	Number of bytes
(1) NV_PCK_LBN	LBN of Navigation pack	4 bytes
(2) VOBU_CAT	Category of VOBU	2 bytes
reserved	reserved	2 bytes
(3) VOBU_UOP_CTL	User Operation control of VOBU	4 bytes
(4) VOBU_S_PTM	Start PTM of VOBU	4 bytes
(5) VOBU_E_PTM	End PTM of VOBU	4 bytes
(6) VOBU_SE_E_PTM	End PTM of sequence end in VOBU	4 bytes
(7) C_ELTM	Cell Elapse Time	4 bytes
reserved	reserved	32 bytes
	Total	60 bytes

【図9】



【図10】

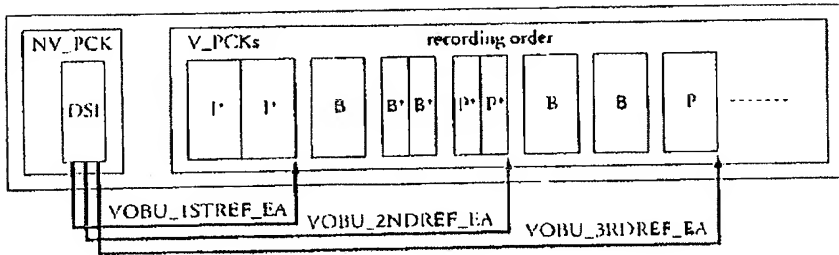
	Content	Number of bytes
DSI_GI	DSI General Information	32 bytes
SML_PBI	Seamless Playback Information	148 bytes
SML_AGLI	Angle Information for seamless	54 bytes
VOBU_SRI	VOB Unit Search Information	168 bytes
SYNCl	Synchronous Information	144 bytes
reserved	reserved	471 bytes
	Total	1017 bytes

【図11】

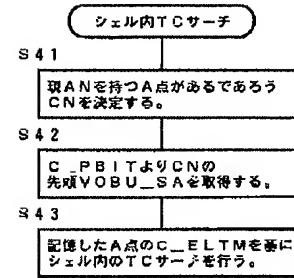
	Content	Number of bytes
(1) NV_PCK_SCR	SCR_base of NV_PCK	4 bytes
(2) NV_PCK_LBN	LBN of NV_PCK	4 bytes
(3) VOB_U_EA	End address of VOB_U	4 bytes
(4) VOB_U_1STREF_EA	End address of the first Reference Picture in VOB_U	4 bytes
(5) VOB_U_2NDREF_EA	End address of the second Reference Picture in VOB_U	4 bytes
(6) VOB_U_3RDREF_EA	End address of the third Reference Picture in VOB_U	4 bytes
(7) VOB_U_VOB_IDN	VOB ID number of the VOB_U	2 bytes
reserved	reserved	1 byte
(8) VOB_U_C_IDN	Cell ID number of the VOB_U	1 byte
(9) C_ELTm	Cell Elapse Time	4 bytes
	Total	32 bytes



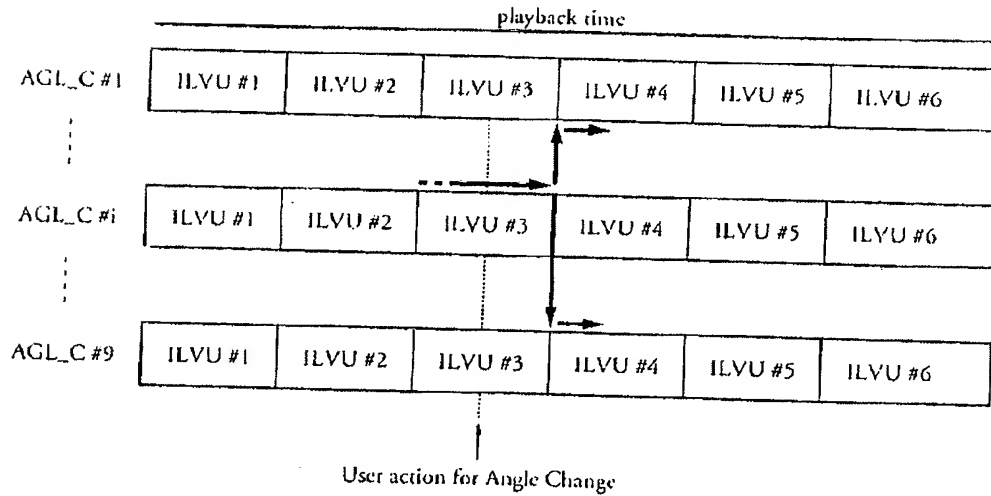
【図12】



【図27】



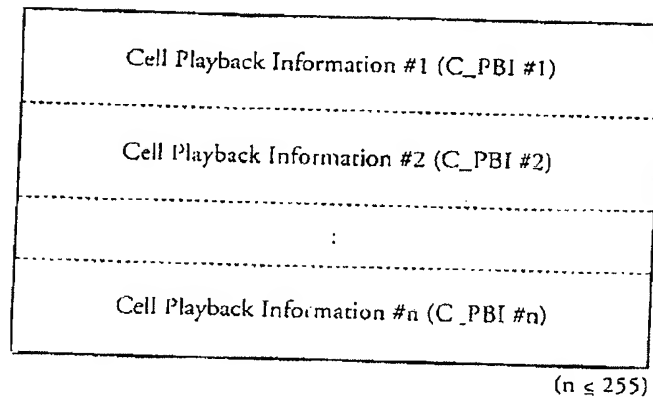
【図14】



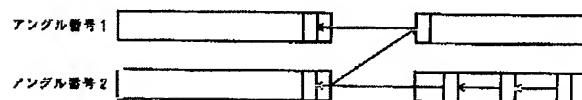
【図 13】

	Content	Number of bytes
(1) VOBU_SML_CAT	Category of seamless VOBU	2 bytes
(2) ILVU_EA	End address of Interleaved Unit	4 bytes
(3) NXT_ILVU_SA	Start address of the next Interleaved Unit	4 bytes
(4) NXT_ILVU_SZ	Size of the next Interleaved Unit	2 bytes
(5) VOB_V_S_PTM	Video Start PTM in VOB	4 bytes
(6) VOB_V_E_PTM	Video End PTM in VOB	4 bytes
(7) VOB_A_STP_PTM	Audio Stop PTM in VOB	8 bytes × 8
(8) VOB_A_GAP_LEN	Audio Gap Length in VOB	8 bytes × 8
	Total	148 bytes

【図 18】



【図 31】



The diagram illustrates the structure of the PGC (Program Generation Controller) and its mapping to VOBs (Video Object Blocks). The PGC is divided into a Pre-Command, Program #1, Program #n, and a Post-Command. Program #1 consists of a sequence of cells (Cell #1, Cell #2, Cell #3, ..., Cell #i). Program #n consists of a sequence of cells (Cell #i+j, ..., Cell #i+j+k). The VOBs are organized into VOB\_IDN #1, VOB\_IDN #s, and VOB\_IDN #s+t. VOB\_IDN #1 contains C\_IDN #1 and C\_IDN #2. VOB\_IDN #s contains C\_IDN #1, C\_IDN #2, and C\_IDN #3. VOB\_IDN #s+t contains C\_IDN #1 and C\_IDN #2. Arrows indicate the mapping from PGC cells to VOBs: Cell #1 maps to VOB\_IDN #1; Cell #2 maps to VOB\_IDN #s; Cell #3 maps to VOB\_IDN #s; Cell #i maps to VOB\_IDN #s; Cell #i+j maps to VOB\_IDN #s+t; Cell #i+j+k maps to VOB\_IDN #s+t.

[illegible]

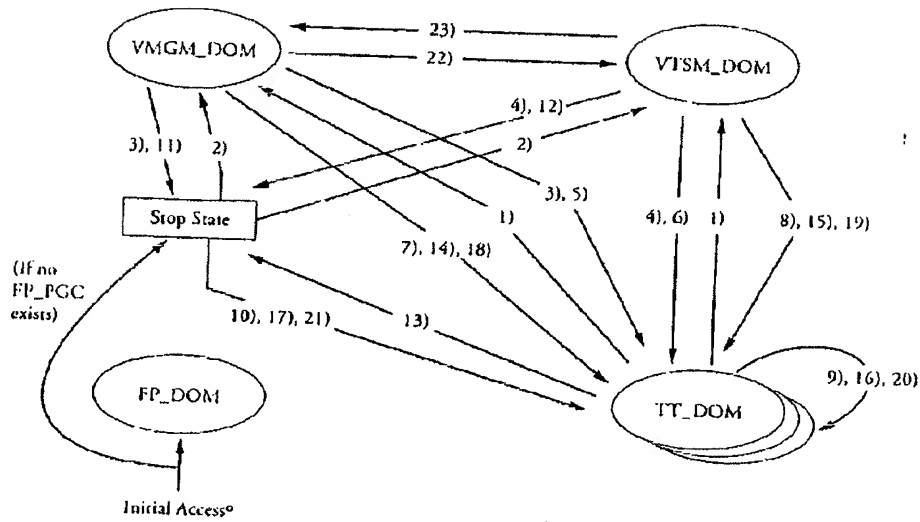
【図 1 7】

RBP		Contents	Number of bytes
0 to 3	(1) PGC_CNT	PGC Contents	4 bytes
4 to 7	(2) PGC_PB_TM	PGC Playback Time	4 bytes
8 to 11	(3) PGC_UOP_CTL	PGC User Operation Control	4 bytes
12 to 27	(4) PGC_AST_CTLT	PGC Audio stream Control Table	16 bytes
28 to 155	(5) PGC_SPST_CTLT	PGC Sub-picture stream Control Table	128 bytes
156 to 163	(6) PGC_NV_CTL	PGC Navigation Control	8 bytes
164 to 227	(7) PGC_SP_PLT	PGC Sub-picture Palette	4 bytes × 16
228 to 229	(8) PGC_CMDT_SA	Start address of PGC_CMDT	2 bytes
230 to 231	(9) PGC_PGMAP_SA	Start address of PGC_PGMAP	2 bytes
232 to 233	(10) C_PBIT_SA	Start address of C_PBIT	2 bytes
234 to 235	(11) C_POSIT_SA	Start address of C_POSIT	2 bytes
		Total	236 bytes

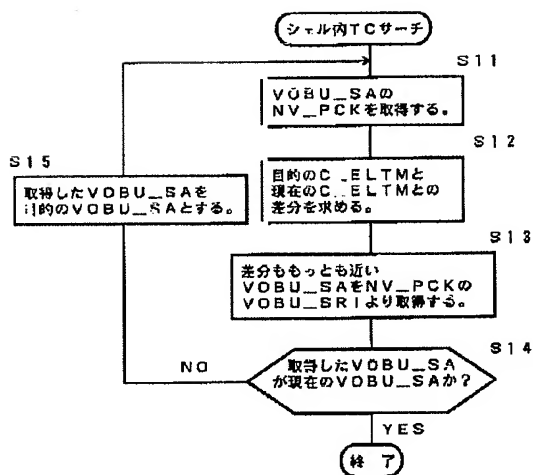
【図 1 9】

	Contents	Number of bytes
(1) C_CAT	Cell Category	4 bytes
(2) C_PBTM	Cell Playback Time	4 bytes
(3) C_FVOBU_SA	Start address of the First VOB in the Cell	4 bytes
(4) C_FILVU_EA	End address of the First ILVU in the Cell	4 bytes
(5) C_LVOBU_SA	Start address of the Last VOB in the Cell	4 bytes
(6) C_LVOBU_EA	End address of the Last VOB in the Cell	4 bytes
	Total	24 bytes

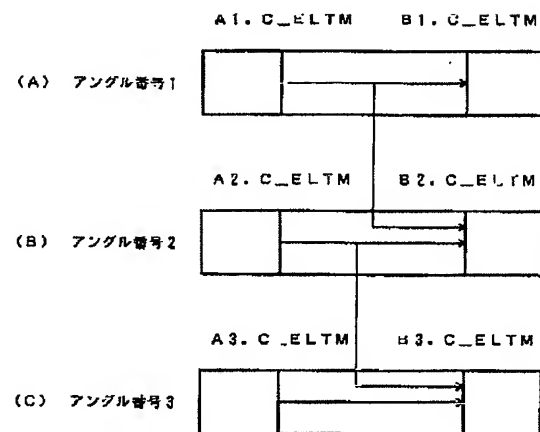
【図20】



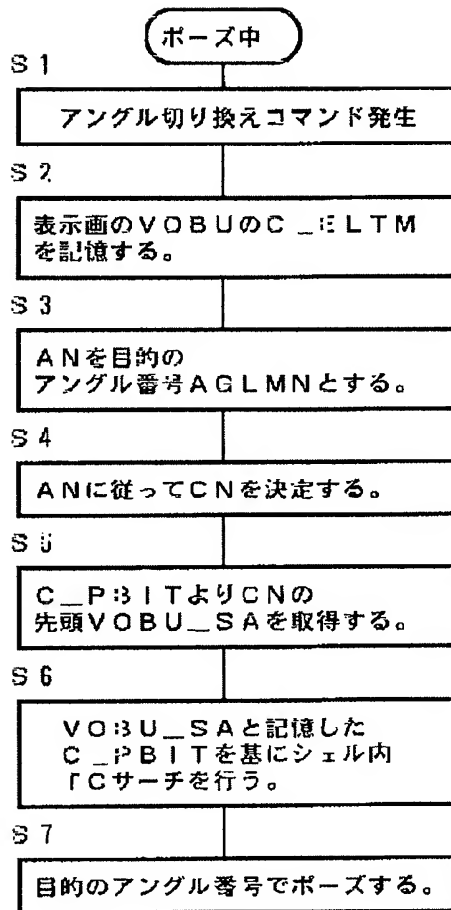
【図23】



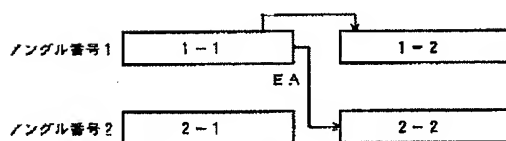
【図25】



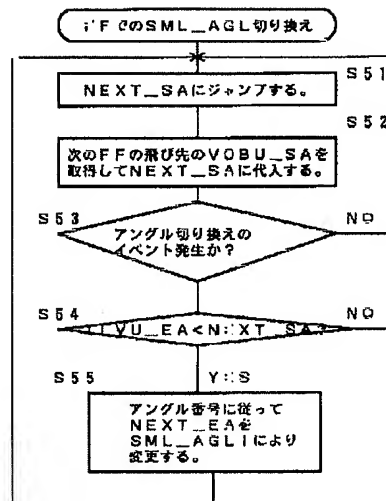
【図22】



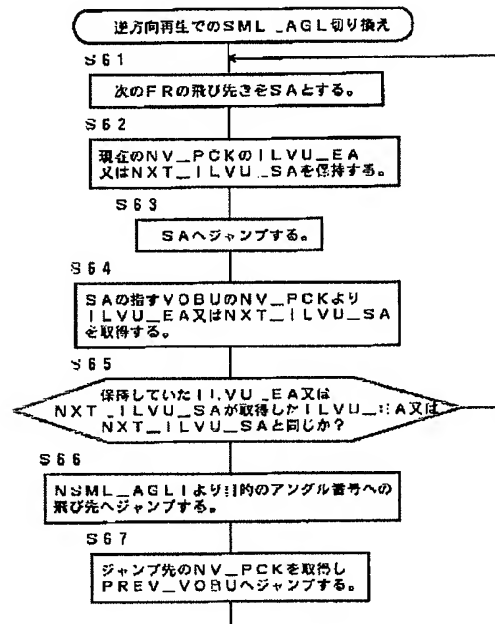
【図29】



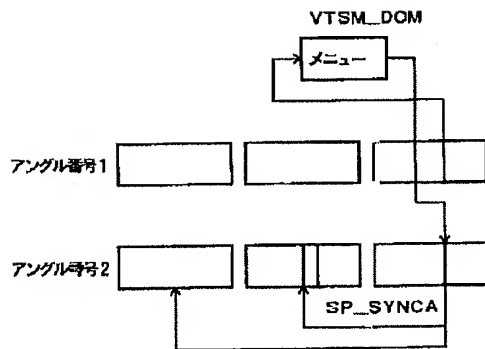
【図28】



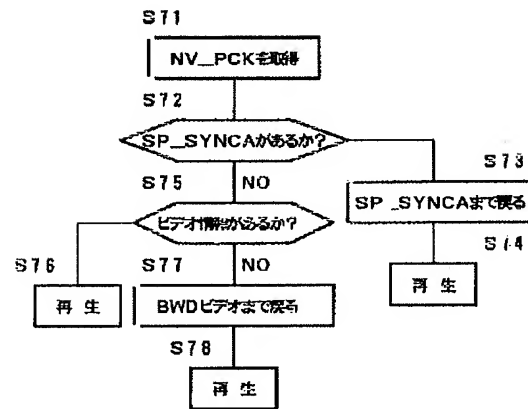
【図30】



【図32】



【図33】



フロントページの続き

(72)発明者 石田 隆行  
東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ  
ー株式会社内